

ハイタクフォーラム総決起集会

全自交労連・交通労連ハイタク部会・私鉄総連ハイタク協議会
団結して「タクシー事業法」を実現しよう！
全国から700名の仲間が結集！

我々は最後まで闘うぞ！「国会へ請願行動
東洋交通労働組合代表 54名が参加！



国会議事堂まで力強く前進する
東洋交通労働組合 組合員の方々

三月七日（木）に、全自交労連・交通労連ハイタク部会・私鉄総連ハイタク協議会による、2013ハイタクフォーラム総決起集会が行なわれました。

東洋交通労働組合からは、執行部5名、組合員49名の方に動員を頂き、当日はバスで会場に向かいました。

十一時より日比谷公会堂にて「タクシー産業の改正、労働環境の抜本改善を目指す大集会」をスローガンに、私鉄総連ハイタク協議会事務局長の久松勇治氏が開会宣言をしました。

主催者を代表して、全自交の伊藤実委員長が次の様に挨拶をしました。

「規制緩和から十一年が経過し、タクシー特別措置法の主旨を理解して真面目に減車に協力する事業者がいる一方で、一切減車に応じない悪質事業者もいる。労働者と真面目な事業者の為に『タクシー特別措置法』の弱点である、減車に対する強制力がない事について事業者間でも不公平感が漂っています。『タクシー事業法案』にも記載されている免許更新制度については確実に盛り込んで実現できるように働きかけています。また、タクシー運賃は、適正原価に適正利潤を加えたものでなければならず、未だに下割れ運賃で運行する事業者に対して、退出させる事が出来る法案にする事が必要です。『安全・安心』のためにも累進歩合制度の禁止、労働者負担の禁止を盛り込んだ『タクシー事業法』を今国会で成立させるべく、全員一丸となり、団結を強固にして頑張っていきたいと思います」と力強く挨拶をしました。



主催者代表あいさつ
伊藤 実 全自交労連中央執行委員長



「タクシー事業法を制定しろー！！」
力強く訴える組合員の方々

経営を代表して、坂本全タク連本部長が「労働者の賃金労働条件改善の為に、何としても『タクシー事業法』の実現を」と力強い挨拶をしました。

政界からは、民主党タクシー政策議連事務局長の谷博之氏、社民党党首、福島みずほ氏が激励のあいさつをしました。

午後、衆参両院の議員面会所への請願行動では、ハイタク産業で働く全国の仲間と共に進行を開始しました。

東洋交通労組の組合旗を中村さんが掲げ、日比谷公会堂から国会議事堂まで、国会通りをシュプレヒコールを行ないながら力強く前進しました。

面会所では上部団体の東京ハイタク労連・今井薫委員長が「我々の声を国会へ届かせてください」と出迎えた民主・社民党の衆・参議員へ10万名を越す請願書を手渡しました。

請願行動の後、公正取引委員会に赴き「新潟運賃カルテル問題」への抗議行動を行いました。

東洋交通労働組合の皆様からは860名分の署名が集まりました。署名にご協力頂いた皆様ありがとうございました。



当日、動員に参加して頂いた組合員の皆さん、明番でお疲れのところありがとうございました。

※新潟運賃カルテル問題とは
昨年一月に運賃カルテルの疑いで公正取引委員会が新潟交通圏タクシー事業者への一斉捜査を行い、二十五社に独占禁止法違反として、総額二億数千万円の課徴金納付を求められました。今回の公正取引委員会の措置は、国会において全会一致で成立した「タクシー適正化・活性化特別措置法」をまったく無視し、法にもとづいた関係者による運賃適正化の努力を独禁法違反に問うという極めて理不尽なものです。



公正取引委員会前にて
怒りの抗議行動を行なう